

Chu-San-Kan チュウサンカンプレス press

研究の森から中山間地域を応援します

2012
Autumn
Vol.6



アカヤマドリ



ホウキタケ



☠ キイボカサタケ



ムラサキアブラシメジモドキ



クロラッパタケ



ホンシメジ



☠ カエンタケ



ヌメリツバタケ



チチタケ



☠ オオワライタケ

特集

しまねの**木**を使う、という選択【木材利用グループ】

秋のにぎわい♪ **き** のこ狩りに行こう!【資源環境グループ】



☠ ツキヨタケ



スギエダタケ



タマゴタケ



ブナハリタケ



☠ センボンサイギョウガサ



☠ カキシメジ



☠ テングタケ



ナメコ



トキイロラッパタケ



スッポンタケ

日本は国土の7割を森林が占める森林大国です。
なかでも島根県は、高知、岐阜について全国で3番目の森林率を誇ります。
それでも未だ建築材に外国から輸入された木材が多く使われているのが現状です。
このようななか、全国的に「地域材を使って家を建てよう!」という人が増えてきています。

生産者と消費者がともに
木材への理解を深めます

しまねの木を使う

地域材を使う利点

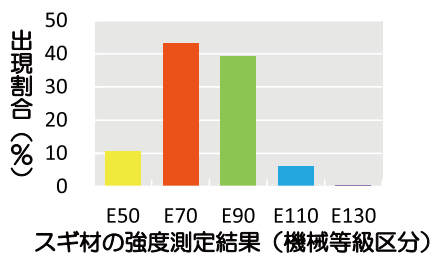
- 省エネルギーにつながります
- 木材への関心が高くなります
- 森の手入れが行きとどきます
- 地元の林業が活性化します



写真は伐採見学会の様子です。
このように、地域材を使う場合は、
生産者と家を建てる消費者との交流会が行われることがあり、消費者はわが家により一層の愛着を深めることができます。

骨組みにしまねの木

センターでは、県産スギ材を家屋の骨組みに使っていただくために必要な強度を測定し、その結果から「島根県産スギ横架材スパン表」を作成しました。県内の工務店や設計士に活用いただくことで利用拡大を図っています。



機械等級区分とは

機械によって木材のたわみにくさを測定し、JAS（日本農林規格）が定める等級区分に格付けされた構造用製材をいいます。等級区分はE50からE150までの6段階があり、高いほど強い性質を持っています。

という選択 【木材利用グループ】



内装にもしまねの木

これまで、コナラやマツのフローリング材やスギやヒノキのパネルなどの試作をおこない、それぞれの樹種が持つ色合い、肌触りを活かした製品の開発をしてきました。

しまねのスギで骨組みをつかった建物

このたび県産木材製品を紹介したカタログが作成されました。木目の美しい内装写真や木造住宅を建てるためのQ&Aなど、眺めるだけでも楽しいですよ♪



秋のにぎわい♪ きのこ狩りに行こう!

【資源環境グループ】

秋です。きのこ狩りシーズンです。今年もたくさん生えています。県内には何種類が生えるのでしょうか?これまでに集めたきのこは650種類です。見落としもあると思うので、全部で1000種類くらいでしょうか?今年も調査を続けています。

名称



①発生場所
②発生時期
③特徴

探して採りたいきのこ Best 5

ヤマドリタケモドキ



シイ・カシ・ナラ林
9月上旬～
イタリア料理の高級食材
「ポルチーニ」の仲間

ショウロ



クロマツ林
10月中旬～
トリュフに似た形、香り

アマタケ



アカマツ・クロマツ林
9月上旬～
たくさん採れて美味

コウタケ



ナラ林
9月中旬～
強い香り、塩漬け保存 OK

マツタケ



アカマツ・クロマツ林
10月上旬～
国産最高級



ドクツルタケ



針・広葉樹林
9月上旬～
1本で致死量に相当



クサウラベニタケ



広葉樹林・マツ林
9月上旬～
中毒事故最多

資源環境グループではこれらのきのこ栽培技術、発生誘導技術の開発・指導を行っています。



毒きのこに注意してください。
当センターでは野生きのこの鑑定を行っています。

何でも情報コーナー



マイ箸・マイお椀
エコバッグ持参に
ご協力下さい

あふれる田舎の底チカラ Chu san kan 中山間フェア in い〜なん

2012.11.4 日 10:00 - 15:00

ところ：島根県中山間地域研究センター

主催：島根県中山間地域研究センター 共催：飯南町

お問合せ 島根県中山間地域研究センター
島根県飯石郡飯南町上来島 1207 TEL0854-76-2025



ステージ

10:00～
赤来中学校吹奏楽部
飯南高校吹奏楽部 合同演奏
11:00～
アンサンブルユニット
KAKO 演奏
13:00～
おしごと戦隊イソガシンジャー

ワークショップ

12:00～13:00 宿泊棟にて
シェフの手作り
ドレッシング講座
※事前予約
講師：宮崎 多太恵氏
(ミセス.ロビンフッド)
定員：先着 15名
【お申込先】
中山間地域研究センター
企画振興スタッフ
TEL 0854-76-2025



いろいろ体験

GIS体験
ロケットストーブで
焼き芋
イノシシ用
簡易箱罠の展示

うまいもの
コーナー
構内ぐるっと
スタンプラリー
フォトコンテスト
展示コーナー

大鍋芋煮
乳牛の搾乳
模擬体験
干し草ロールに
お絵かき

顕微鏡で野山のもの
何でも観察
木工体験教室
端材もってけ
コーナー

※フェアの詳細はホームページにて掲載

やさか郷づくり事務所からお知らせ

「みんなでつろうて、ええとこ歩き」定期開催スタート！

「ええとこ歩き」は、土地の風土を感じ季節の料理を味わう、弥栄の田舎暮らしを体験できる新しい観光プログラムです。

毎月、弥栄のどこかで、中山間地域だからこそできる持続可能な暮らしをご紹介します。

初回は10/21(日)、11/23(祝)以降月1回のペースで開催します。

詳細は、「なつかしい弥栄、おいしい弥栄」にて随時発信します。



<http://www.yasaka-mura.com/>

アクセスマップ



編集者のつぶやき…

今号で6号目の発刊。中山間地域研究センターに少しずつ興味を持って頂けたでしょうか。

「Chu-San-Kan press」って「どんな人が書いているんだろう」

「あの記事のこと、もう少し詳しく教えてくれないかな」など感じた方、ぜひこの秋開催の「中山間フェア」に足をお運びください。中山間地域のワクワクな「宝物」を用意してお待ちしています！(Y・F)

次号 特集予告

【地域研究スタッフ】
【森林保護グループ】

「産直天国！」
スギ林での雪害の脅威



島根県中山間地域研究センター情報誌

Chu-San-Kan press

研究の森から中山間地域を応援します

2012
Autumn
Vol.6

編集・発行
島根県中山間地域研究センター
〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207
TEL 0854-76-2025 FAX 0854-76-3758

WEBで検索

島根県中山間地域研究センター

検索